



タイトル「北上川治水対策事業、一関遊水地事業を学ぶ」

開催概要

- 開催日時 令和6年1月19日(金) 10:50~14:30
- 開催場所 あいぽーと(一関市狐禅寺)、大林水門
- 参加者 JICA(外国人13名、通訳、随行者)
- 講座目的 北上川治水対策事業、一関遊水地事業を学ぶ

実施内容

今回の出前講座は、JICA関西が毎年開催している『2023年度課題別研修「アフリカ総合防災」』として1月9日から来日しているアフリカ各国代表の皆様が、あいぽーとにお越しいただきました。

当日は12カ国(アルジェリア、コートジボワール、エジプト、ケニア、リベリア、マラウィ、モザンビーク、セネガル、シエラレオネ、南スーダン、ジンバブエ、カーボベルデ)の代表の皆様に、当事務所の説明を通訳の方が英語で同時通訳していただきました。

参加された皆様からは、平常時と洪水時の雨量の違いについて、事業に伴う農地への補償について、工場からの排水に対する河川の水質管理について、流域治水への転換について、大林水門のゲート耐用年数について、等沢山の質問をいただきました。

今日の視察が、皆様の一助となれば幸いです。

実施状況



同時通訳による説明



遊水地の仕組みを説明



大林水門の前で記念撮影